

わがチラ裏ブログより転載

<https://www.ma-2.com/blog1/>

ふちんかん

この連載 6 4 回目

自宅スタジオ 202501

5年前のコロナ騒動で急速に発展した**自宅スタジオ化**。
今やZOOM会議用（飲み会？）でしかないのだが、現時点での環境を記してみる。



場所こそ違え、当時と同じ机にPC、マイク、複数のスマホを利用したカメラは変わっていない。

変化したのは、モニタが増えて大型化したこと、背景のグリーンバックが緑色のカーテンに変わったことくらいだろうか。

（ただし、このカーテンも当時、グリーンバック用に購入したものだった。）

デスク右手のiPadPROは独立しているのだが、使用しているOneNOTEがWindows版のアプリと同期しているので、実質5枚目のモニタのようにになっている。

あとスマホカメラ化のアプリが、「iriun webカメラ」というアプリに変わった。

同じwifi環境にあるだけで、スマホからの画像がPCアプリに表示される。4台まで使用できるので、先日のWOO集会では鉄道模型の走行シーンも背景として取り入れることができた。

スマホ側にPro版(1100円)を入れると、PC側からズームやカメラの切り替え、ライトのON/OFFなどの調整が行える。これは便利。



web会議用には、「OBS Studio」を用いて、カメラやロゴ、背景動画などをミックスして送信している。

カレーうどん 202412



冬の献立は、鍋とカレーが中心となる。
 カレーの最後はカレーうどんである。
 水を加え調理鍋の壁に残ったカレーも溶かす。

そして味付けに、スープの素と粉末カタクリ粉である「とろみちゃん」で整える。

便利な調味料のおかげで、とろみのある汁物がいただける。



ちなみに今年の鍋の定番は、キムチベースのモノが多い。「プチッと鍋」や「鍋キューブ」などをブレンドして使っている。

具材はハクサイ・ネギ・ニンジン・豆腐・豚肉をメインに、セミ餃子・刻みあげ・小切りしたモチ・玉子を入れている。(°∇°)ウー

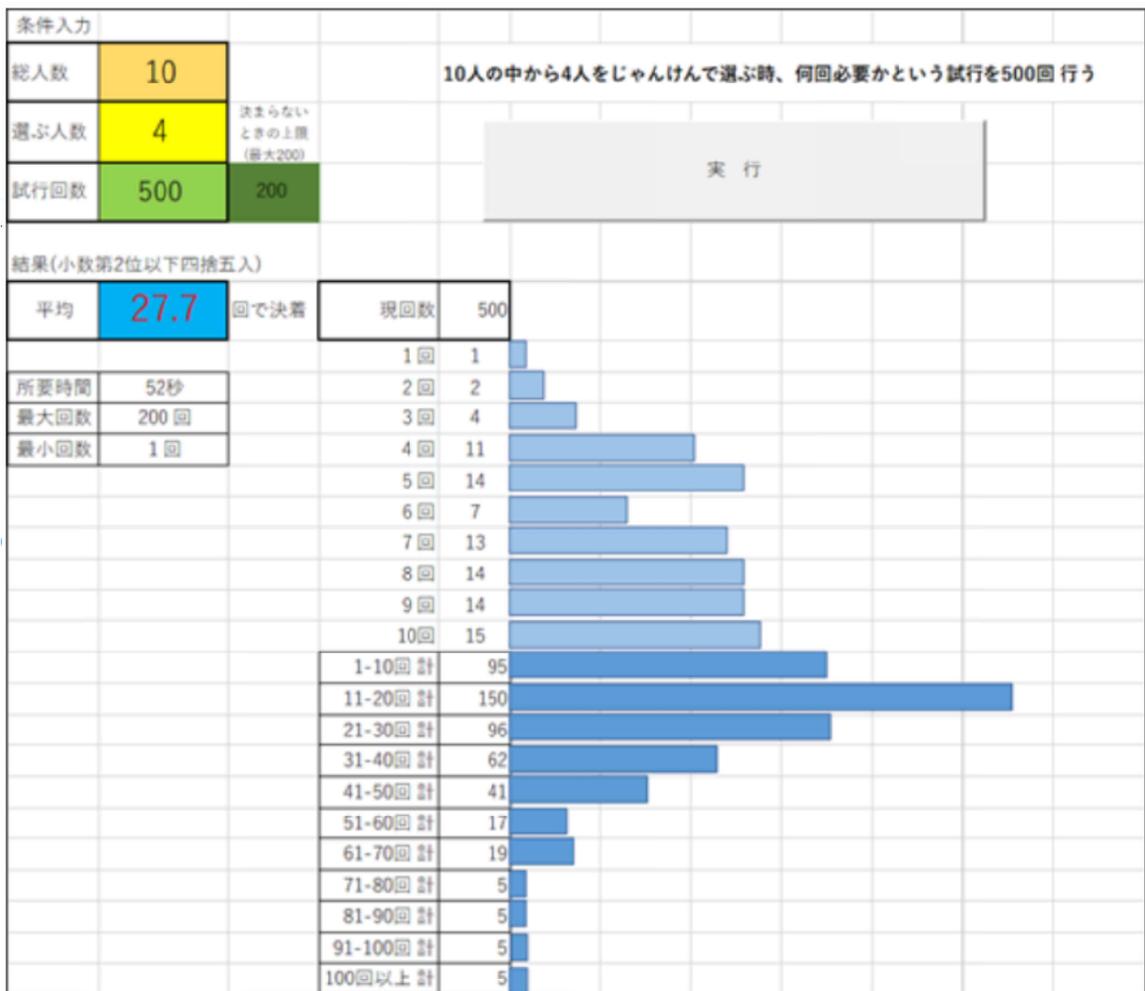
じゃんけん試行 エクセルのVBAで作ってみた

3つの当選枠を10人が欲しがり、じゃんけんで決することとする。勝負が決まるまでの回数は何回くらい必要になるだろうか？

この解答を数学の確率に求めると…

一度で決まる確率は計算で求められるが、例のように当選枠が3人で、枠より勝者が多ければ再度その人数でじゃんけんとなるし、枠より少なければ残りの枠を賭けたじゃんけんが始まる…3人に絞る作業に必要な場合分けが多すぎて現実的ではない。さらにじゃんけんには引き分けがあり、10人もいれば引き分けがかなり増えてくる。

そこでPCを用いて統計的な手法をとってみる。表題のようにエクセルのマクロ(VBA)で作ってみた。





図の[総人数]・[選ぶ人数]・[試行回数]を入力してボタンを押すと、試行回数だけじゃんけんを繰り返してくれる。結果が[平均]と必要回数別の帯グラフに返ってくる。

当然ながら人数が多くなるほど引き分けが増えるので、必要な回数うなぎのぼりとなる。

200回試行の結果

総人数を5～16人まで
選ぶ人数は3人とした。

人数	必要回数	計算時間	人数	必要回数	計算時間
5	5回	24秒	11	39回	64秒
6	7回	25秒	12	50回	78秒
7	10回	28秒	13	73回	107秒
8	13回	32秒	14	94回	132秒
9	19回	35秒	15	129回	176秒
10	24回	46秒	16	135回	185秒

計算時間は、このじゃんけん試行をPCにさせたときの時間である。ほっとけば計算してくれるとはいえ、人数が増えると時間もけっこう掛かる。

15人以上になると上限の試行回数を超えてしまうものもあるので、本当の必要回数や時間はもっと大きいのもかもしれない。

いずれにしても、大人数でじゃんけんをすることにはたいへん時間が掛かることは分かる。王様じゃんけんや少ないモノ勝ちじゃんけん等を用いて、ある程度人数を絞ってからじゃんけんをすることをオススメする。

